

阪神・淡路大震災から30年が経過しました



今から30年前の平成7年1月17日 5時46分、淡路島北部、深さ16kmを震源とするマグニチュード7.3の地震が発生しました。この地震では、神戸市で震度7が観測され、死者6,434名、行方不明者3名、負傷者43,792名という、都市直下型地震として甚大な被害をもたらしました。

現在、東京では首都直下地震の発生が危惧されています。私たち一人一人が防災への意識を高め、被害を最小限にするための備えをしていくことが大切です。

数字は総務省消防庁調べより

防災訓練を実施しましょう！



災害は、いつどこで発生するかわかりません。地震・火災等が発生した時のために、防災訓練に参加し防災行動力を高めましょう！

石神井消防署では、署のイベントや町会のイベントに合わせて防災訓練を実施しています。まずはお気軽に消防署までご相談ください！

防災訓練の内容

消火器の取扱い訓練 スタンドパイプによる消火訓練 応急救護訓練 通報訓練など

おうちでも『防災行動力』は身につけられます！

～リモート防災学習・東京消防庁公式アプリを活用しよう～

防災訓練への参加が難しい時は、東京消防庁ホームページの「リモート防災学習」を是非ご利用ください。防火防災に役立つ動画の視聴や防災に関するクイズに挑戦できます。

また、東京消防庁公式アプリは、防災関連の動画配信など、緊急時に役立つ機能を備えています。これらを活用して、ご自身に合った方法で「防災行動力」を身につけ、いざという時に備えましょう！



リモート防災学習サイト



東京消防庁公式アプリ
ダウンロードサイト

住宅火災は冬に急増します！

- ・周囲に燃えやすいものを置かない。
- ・ストーブの近くで洗濯物を干さない。
- ・スプレー缶は近づけない。
- ・外出時や就寝時は必ず消す。

ストーブ
電気ストーブ
による火災が
8割

こんろ
出火原因で
最も多い

- ・周囲を整理整頓し、燃えやすい物を置かない。
- ・火が鍋底からはみ出さないよう調節する。
- ・調理中はこんろから離れない。



住宅防火10の心得

- ・コード周りを定期的に点検・清掃する。
- ・束ねて使用しない。
- ・家具の下敷きや折れ曲がりに注意する。
- ・電源タップは決められた容量内で使用する。

電気コード
身近に潜み、知らない間に

たばこ
住宅火災の
死者で
最も多い

- ・寝たばこは絶対にしない。
- ・灰皿に吸殻をためない。
- ・吸殻は必ず水をかけ完全に消火する。
- ・吸殻に水をかけずにゴミ箱に捨てない。